

小 企 業 編

(2018年7-9月期実績、2018年10-12月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

[概況]

- ・業況判断DIは、前回調査(▲28.9)に比べてマイナス幅が1.7ポイント縮小し、▲27.2となった。来期は、マイナス幅が0.1ポイント拡大し、▲27.3となる見通しである。
- ・業種別にみると、製造業とサービス業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。来期は、製造業と卸売業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大する見通しである。
- ・売上DIは、前回調査(▲25.1)に比べてマイナス幅が4.0ポイント縮小し、▲21.1となった。来期は、マイナス幅が3.1ポイント拡大し、▲24.2となる見通しである。
- ・採算DIは、前回調査(▲13.2)に比べてマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲11.3となった。来期は、マイナス幅が1.8ポイント縮小し、▲9.5となる見通しである。

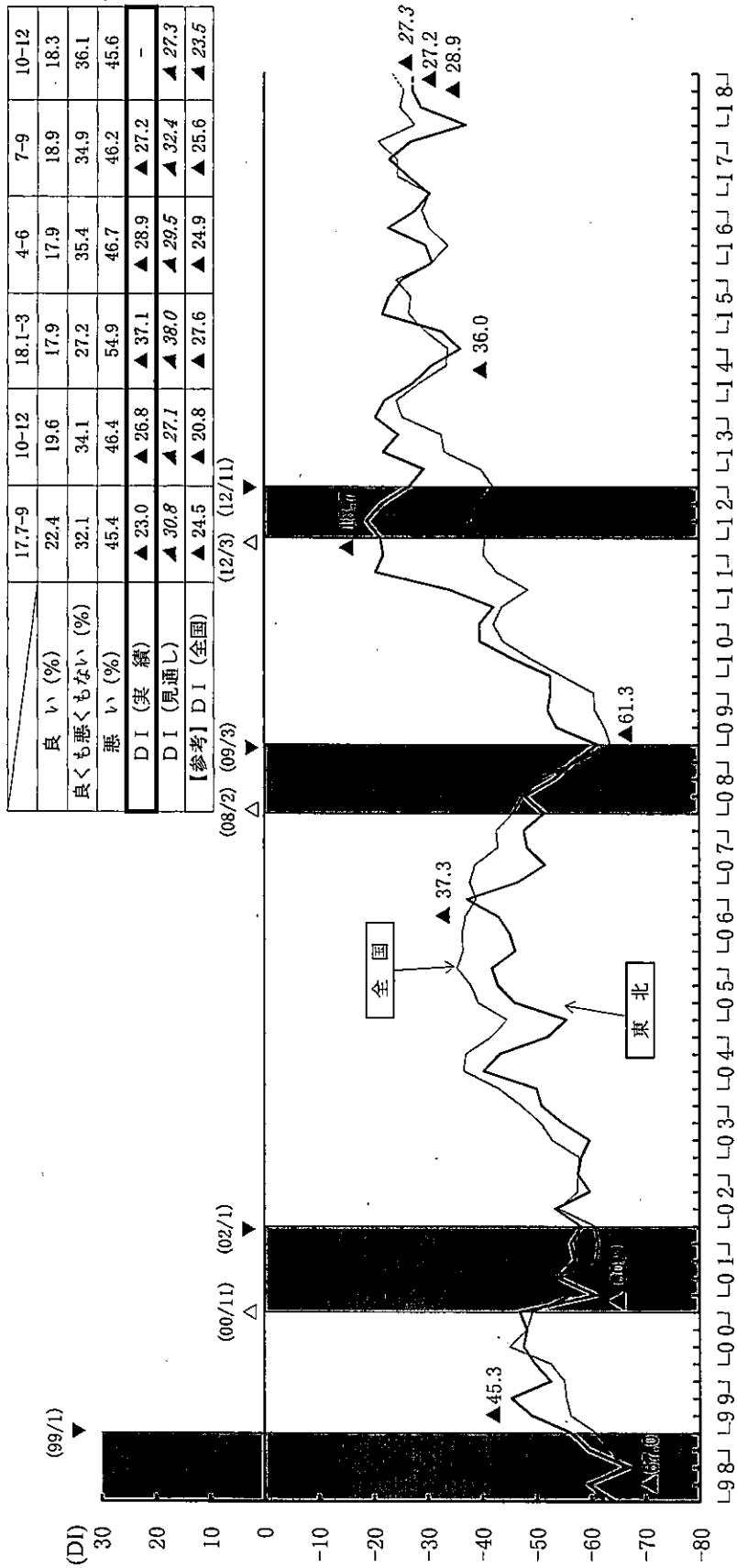
[調査の実施要領]

調査時点	2018年9月中旬		
調査対象	当公庫取引先	835	企業
有効回答数	648		企業
有効回答率	77.6		%
<p><業種構成></p> <p style="text-align: center;">調査対象</p> <p style="text-align: center;">有効回答数</p>			
製造業	(従業者20人未満)	76	企業 (構成比 10.3 %)
卸売業	(同 10人未満)	77	企業 (構成比 9.9 %)
小売業	(同 10人未満)	221	企業 (構成比 25.0 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	151	企業 (構成比 16.4 %)
サービス業	(同 20人未満)	191	企業 (構成比 22.7 %)
情報通信業	(同 20人未満)	4	企業 (構成比 0.5 %)
建設業	(同 20人未満)	98	企業 (構成比 13.3 %)
運輸業	(同 20人未満)	17	企業 (構成比 2.0 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（▲28.9）に比べてマイナス幅が1.7ポイント縮小し、▲27.2となった。来期は、マイナス幅が0.1ポイント拡大し、▲27.3となる見通しである。
- 業種別にみると、製造業とサービス業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。来期は、製造業と卸売業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大する見通しである。
- 県別にみると、青森県、岩手県、福島県でマイナス幅が縮小した。来期は、青森県、秋田県、山形県でマイナス幅が拡大する見通しである。

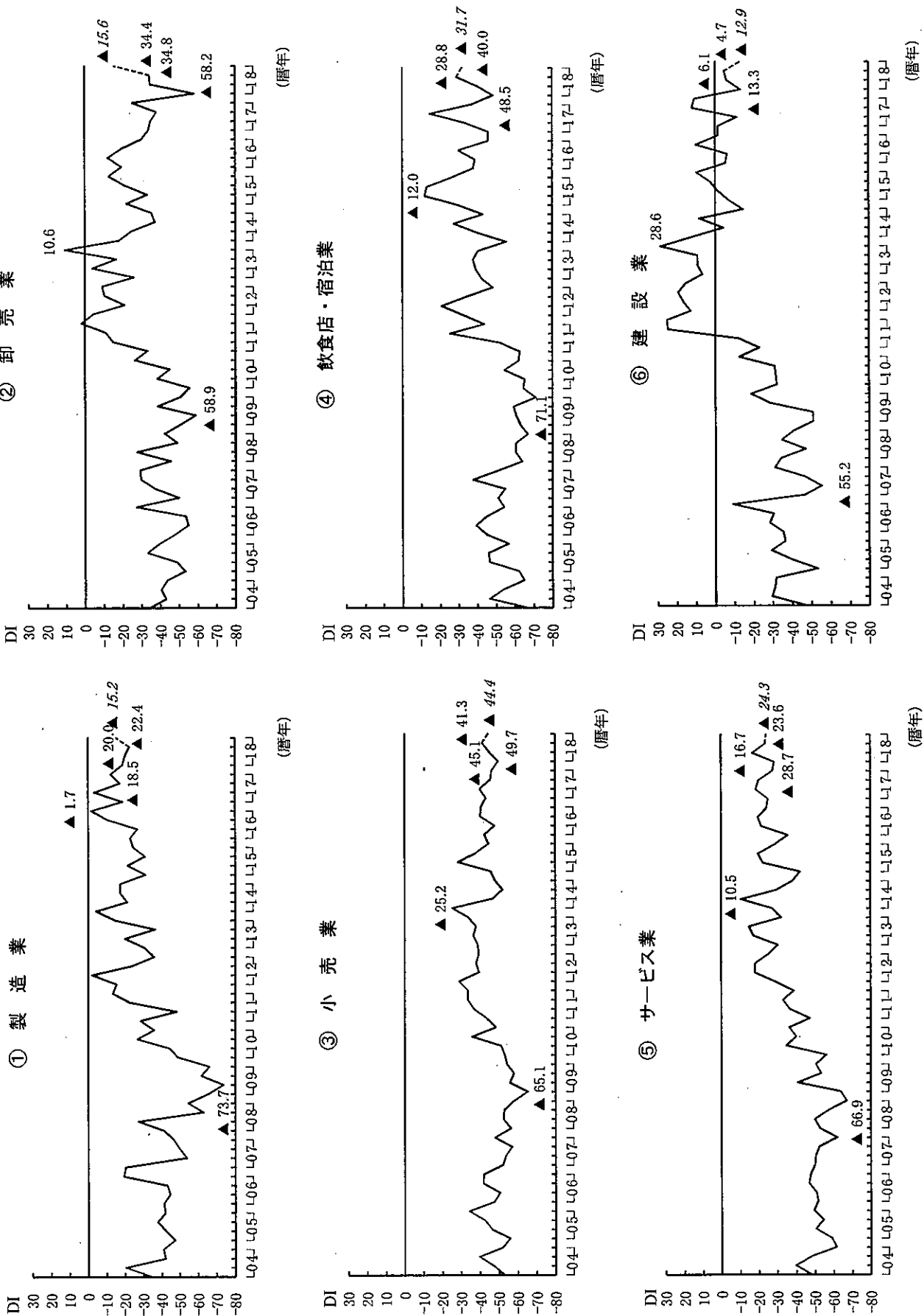
図-1-1 業況判断DIの推移（全業種計）



(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

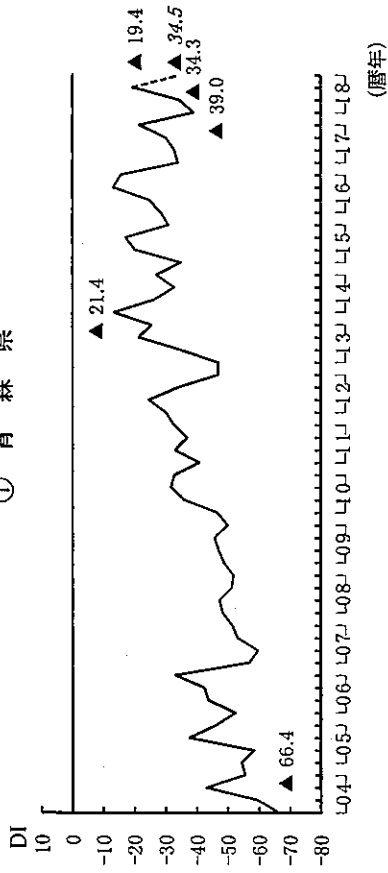
2 ——— は実績、 は見通し。斜体は見通しの値を示している。

図-1-2 業種別業況判断DIの推移

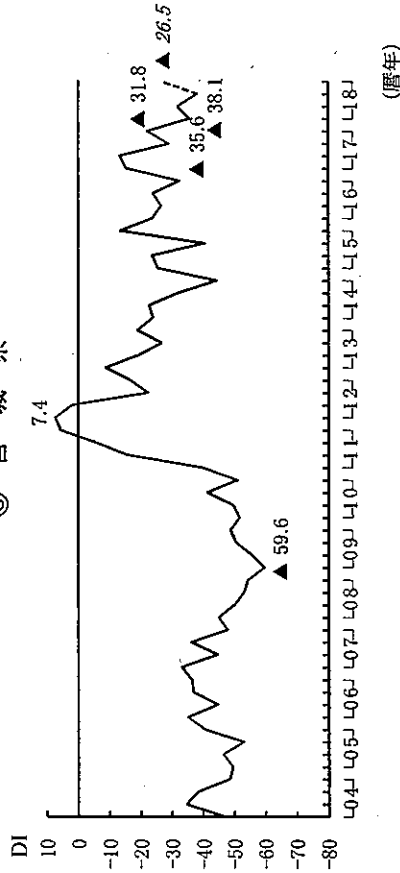


図一 1 - 3 県別業況判断DIの推移

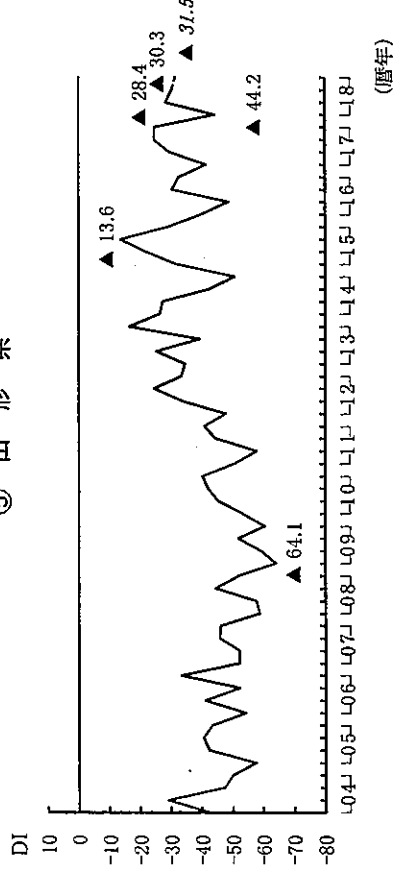
① 青森県



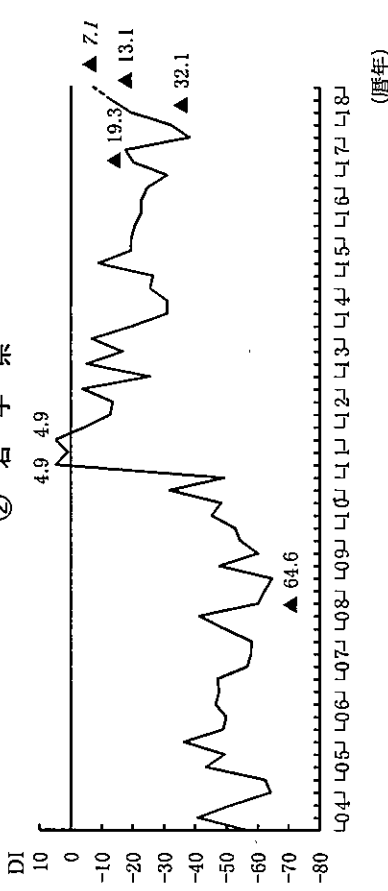
③ 宮城県



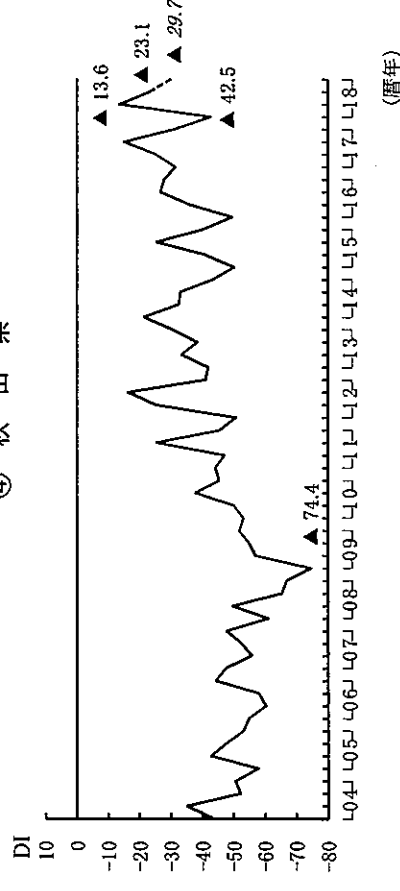
⑤ 山形県



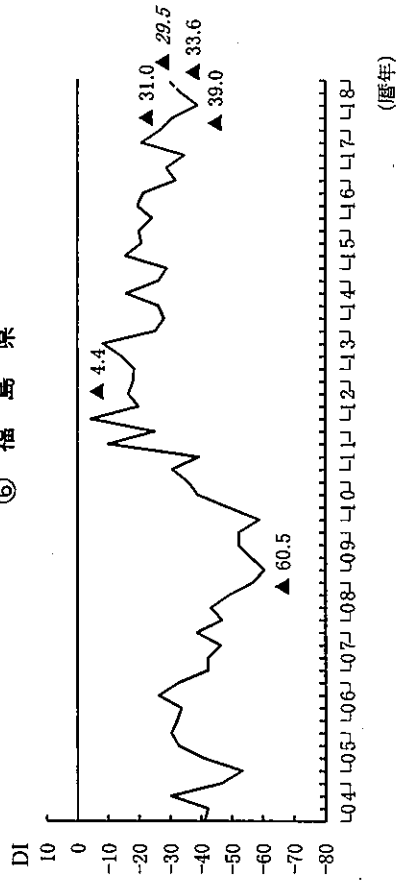
② 岩手県



④ 秋田県



⑥ 福島県

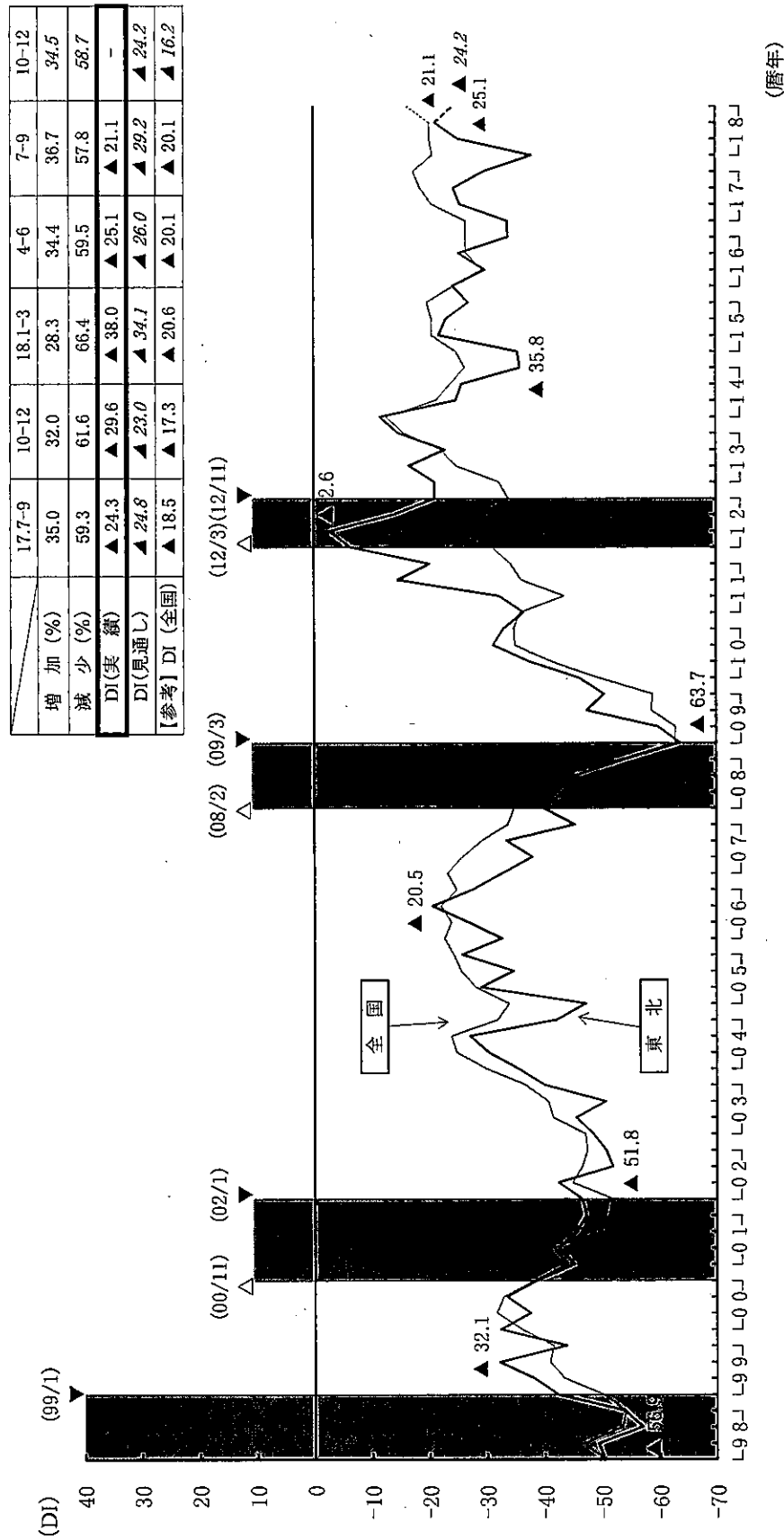


2 売上

○ 今期の売上DI(全業種計)は、前回調査(▲25.1)に比べてマイナス幅が4.0ポイント縮小し、▲21.1となった。

○ 来期は、マイナス幅が3.1ポイント拡大し、▲24.2となる見通しである。

図-2 売上DIの推移(全業種計)



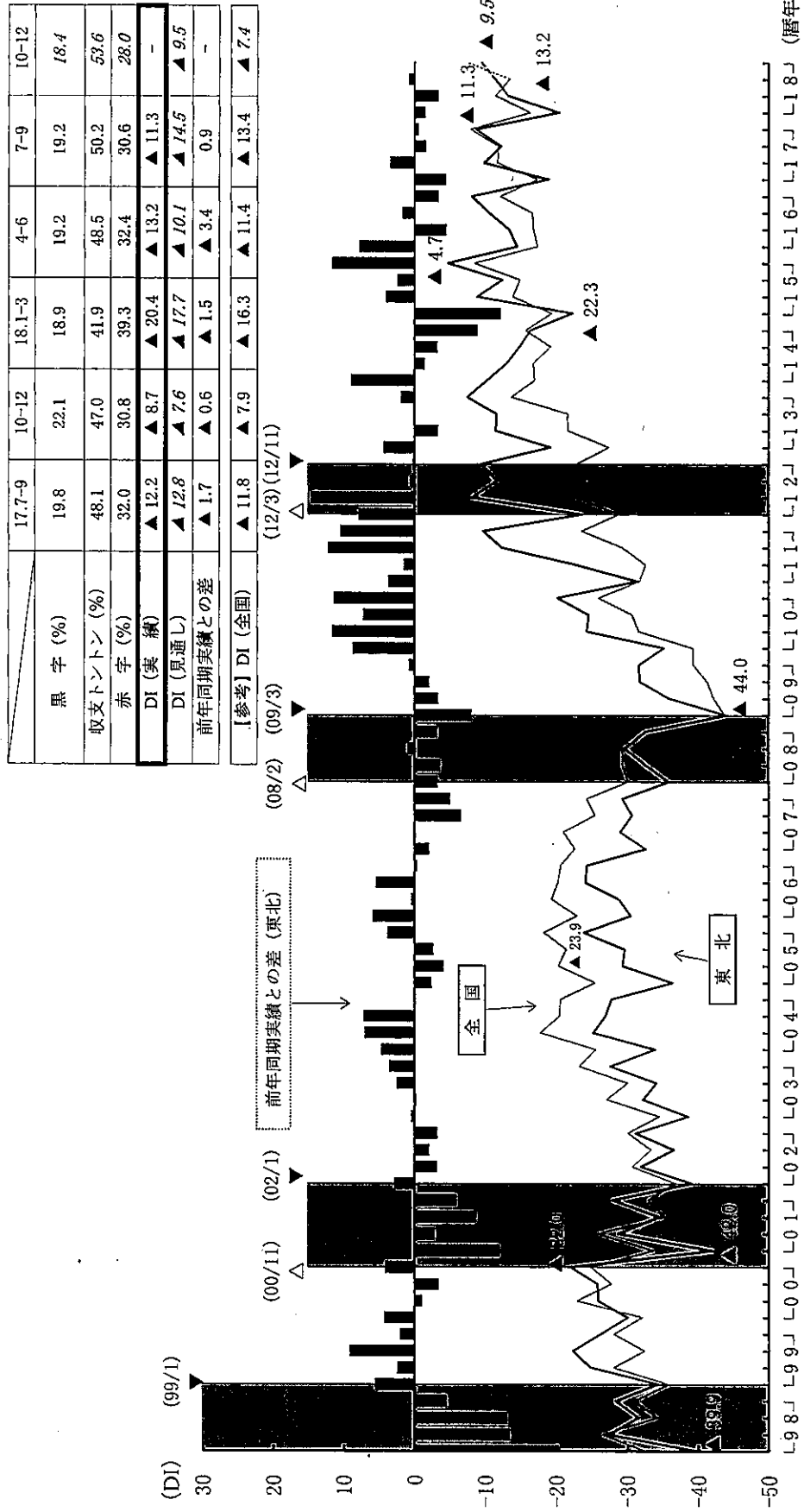
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前回調査(▲13.2)に比べてマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲11.3となった。
- 来期は、マイナス幅が1.8ポイント縮小し、▲9.5となる見通しである。

図-3 採算DIの推移(全業種計)



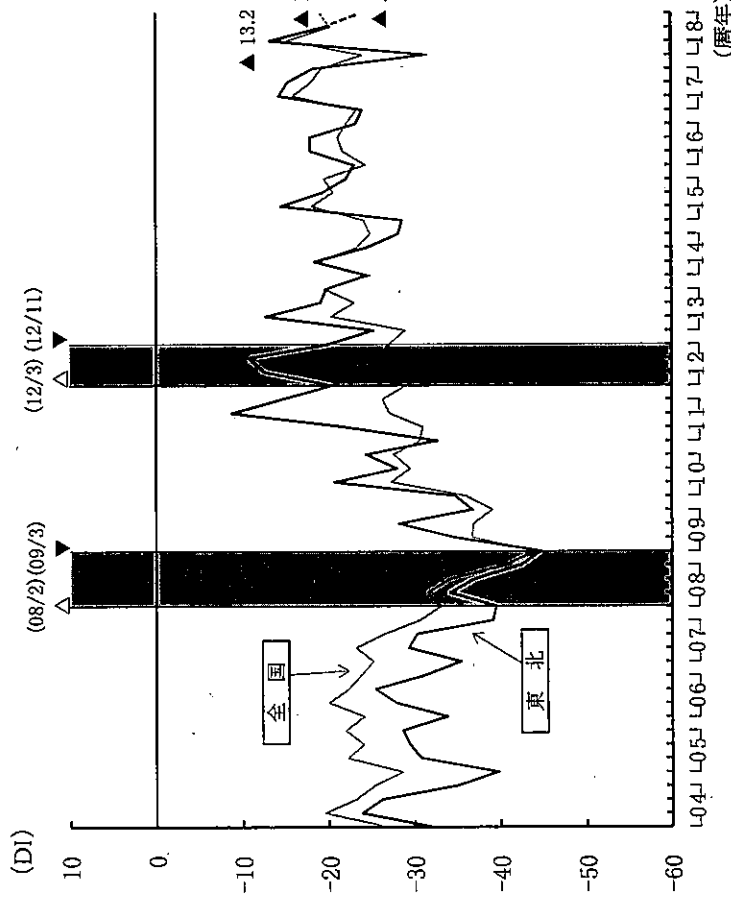
(注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し、----- は見通しとの差を示している。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI (全業種計) は、前回調査 (▲13.2) からマイナス幅が6.3ポイント拡大し、▲19.5となった。来期は、マイナス幅が4.2ポイント拡大し、▲23.7となる見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況 (全業種計) をみると、今期の借入DIは、前回調査 (▲6.1) からマイナス幅が3.3ポイント縮小し、▲2.8となった。

図-4 資金繰りDIの推移 (全業種計)

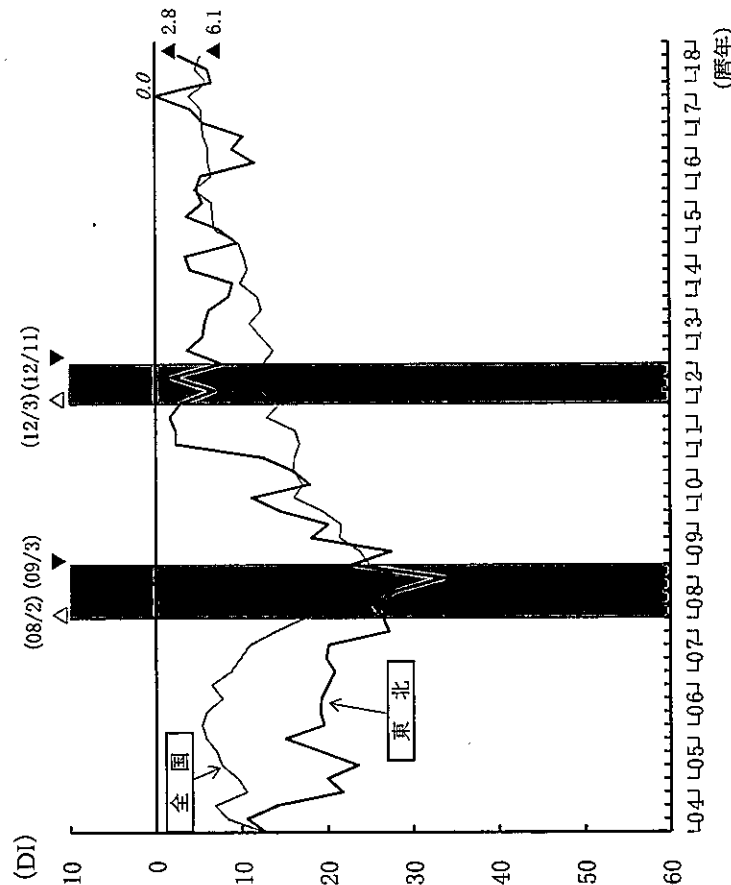
	17.7-9	10-12	18.1-3	4-6	7-9	10-12 (見通し)
資金繰りDI	▲15.3	▲18.2	▲31.5	▲13.2	▲19.5	▲23.7
【参考】DI (全国)	▲18.0	▲19.2	▲24.0	▲15.2	▲20.3	▲19.1



(注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
2 ———は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

図-5 借入DIの推移 (全業種計)

	17.7-9	10-12	18.1-3	4-6	7-9、
借入DI	▲4.2	0.0	▲6.5	▲6.1	▲2.8
【参考】DI (全国)	▲5.4	▲4.0	▲6.1	▲4.7	▲5.3

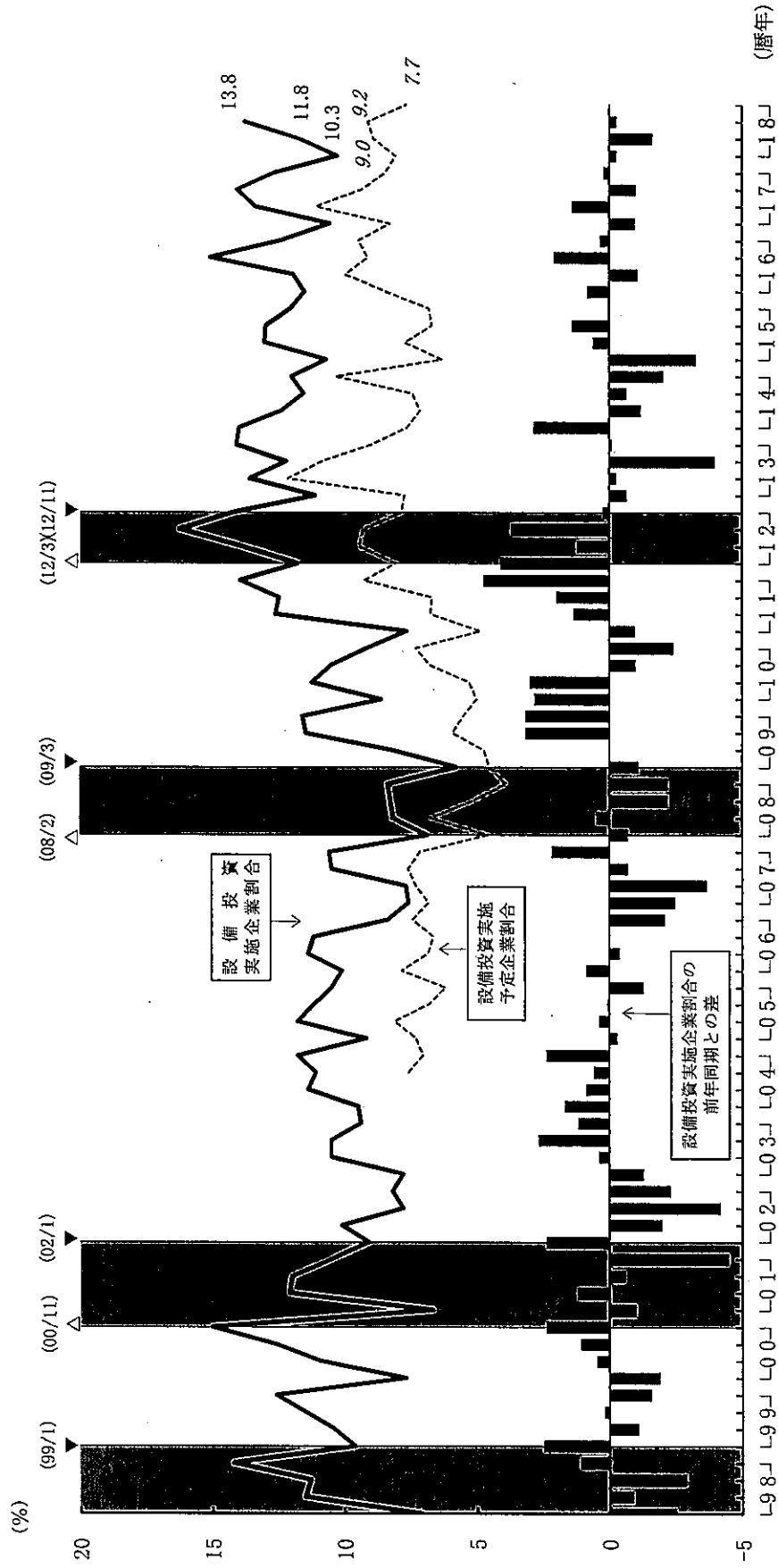


(注) 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。

5 設備投資

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、2.0ポイント増加し13.8%となった。
- 来期に設備投資を予定している企業の割合（全業種計）は、7.7%である。

図一6 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）

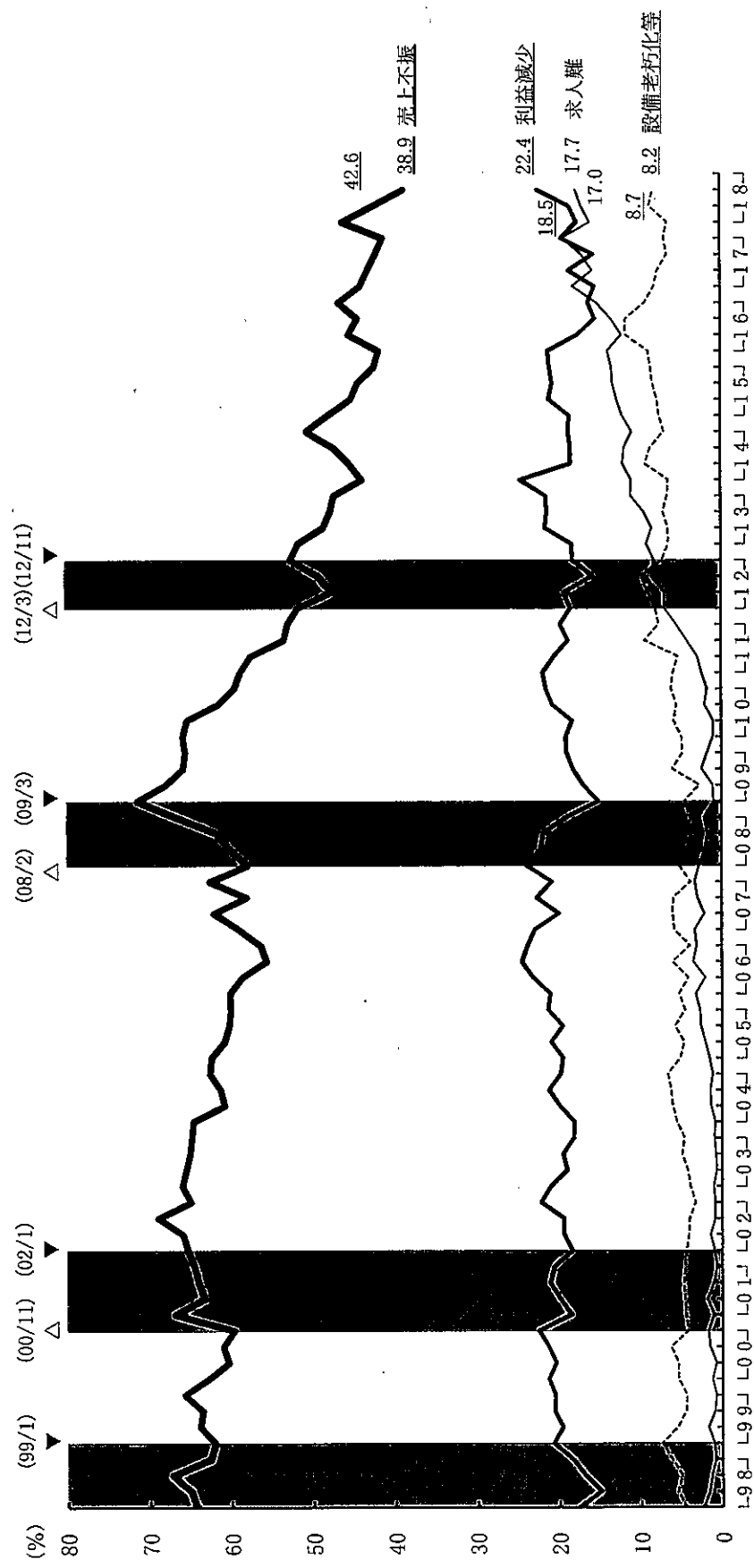


(注) 設備投資実施予定企業割合については、2004年4-6月期以前のデータはない。

6 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が38.9%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（22.4%）、「求人難」（17.7%）の順となっている。

図-7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）



(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものである。（暦年）